



令和8年度

# 園だより



文京区立根津幼稚園

## きらきらした初夏の自然の中で

主任 今村 久美子

緑が美しい季節となりました。先月は、親子遠足を実施しました。保護者の皆様にはご参加いただき、ありがとうございました。緑豊かな六義園で、親子で「ねづっこたんけんたい」になって、自然の中でいろいろなものを見付ける活動を行いました。『まつぼっくりのあかちゃんをみつけよう』『おおきなきをかこんでみよう』『いろいろなかたちのはっぱをさがしてみよう』など、親子で散策しながら9つのお題をクリアしていくアクティビティです。子どもたちは心地よい青空の下、木々や草花に囲まれながら「手の形の葉っぱがあったよ」「池にアメンボを見つけたよ」発見したことをお家の方や友達と共有して喜んだり、透き通るような木々の緑色の葉や地面を忙しそうに歩くアリのじっくり眺めたりと、様々な感覚を働かせて楽しんでいました。保護者からのアンケートには「スタンプラリーの内容がおもしろく知的好奇心をくすぐるものでした」「普段なかなか行かない庭園に初めて行き、自然が豊かで驚きました。また行きたいと思います」「子どもが楽しみながらたくさん自分の足で歩くことができ、たくさん発見していました。」「自然の中で保護者も癒されました。」等、親子で良い時間を過ごせたことが表れており、感性や体力、知的好奇心などが育まれたことが伺われました。都会の中でも、身近な場所に豊かな自然がありますね。



六義園を親子で散策



大きな木を囲んで

幼稚園の園庭でもまた、この季節は自然との触れ合いが豊かに行われています。4、5月にかけて、土作りをしてから、畑やプランターに様々な苗を植えたり種をまいたりしました。手のひらに乗せた種をじっくり観察してからまき、『土のおふとん』を優しく掛けてあげてから、毎日水をあげていた3、4歳児は、ある日芽が出ているのを発見して大喜び。植物の生長に関心をもって大事に世話をしているという気持ちが育っています。5歳児は、自然体験講師の三島先生に『綿花の種』を特別にいただきました。ふわふわした不思議な種を一晩水につけた後、講師の先生と一緒にプランターにまきました。「綿は洋服の繊維にもなるから、生活にとっても必要なものです」という話を講師から聞いて関心をさらに深めた様子でした。水をあげすぎると呼吸ができなくなってしまうので、土が乾いた時に水をあげるといい、と教えていただき、土の湿り具合をみて水の量を加减するようになってきました。秋に綿が実るのを楽しみにしています。

幼稚園の玄関にあるオジギソウやコスモス等の栽培物にも、ぜひ親子で目を向けてみてください。

また、6月には親子トマト植え体験(熊本県玉名市との交流活動)もあります。野菜や花など植物の『いのち』に触れる栽培活動を、幼児期にこそ、ぜひ親子で体験してみてください。



講師と綿花の種まき



水をあげて「大きくなあれ」